

楽習フェスタ2012～第14回 聖徳大学生涯学習フォーラム～
地域で子どもを育てよう

日時：6月9日(土) 13:30～16:15
 場所：聖徳大学生涯学習社会貢献センター(聖徳大学10号館)

記念鼎談「子どもの力を育む ～地域に子どもの出番をつくれるか～」

時間：13:30～15:00 会場：14階



稲垣美穂子
 女優・NPO法人青少年の心育てる会副会長

女優、特定非営利活動法人青少年の心育てる会副会長。日本女子大学文学部国文学科、日活映画「孤独の人」で銀幕デビュー。昭和52年、劇団目撃時計を設立。「家族で楽しめるミュージカル」を全国各地で上演している。同61年、青少年の心育てる会を発足、理事に就任(平成13年にNPO法人に改組)。舞台を中心に、映画、テレビで活躍中。



田中社一郎
 国立青少年教育振興機構理事長

国立青少年教育振興機構理事長。東京大学法学部卒業後、文部省に入省。香川県教育委員会教育長、文部科学省スポーツ・青少年局長、生涯学習政策局長、文部科学審議官などを歴任。「早寝早起朝ごはん」運動の企画から携わり、「早寝早起朝ごはん」ティア制度や「子ほめ運動」「創年運動」「観光まちづくり」を提唱。全国協議会副会長も務める。平成20年4月から現職。



福留 強
 聖徳大学 生涯学習研究所長

聖徳大学名誉教授、聖徳大学生涯学習研究所長。文部省社会教育局、生涯学習社会教育官、九州女子大学教授、聖徳大学教授などを経て現職。指導等に関わった自治体は約千ヶ所。まちづくりボランティア制度や「子ほめ運動」「創年運動」「観光まちづくり」を提唱。

核家族化が進み、世代を越えた交流の場が少なくなり、子どもたちが地域社会と関わる機会が減ったと言われます。果たして、そうでしょうか。子どもが地域活動に参画し、まちが活気づいているケースもたくさんあります。そこには「子どもにどのような出番を用意するか」という工夫が隠れています。子どもは地域の宝。子どもたちを育てるのは親だけではなく、「地域で子どもを育てる」ことを一緒に考えませんか。

分科会「家庭と地域の役割」

時間：15:15～16:15 会場：12階

第1分科会 コーディネーター：西村美東士(聖徳大学人文学部生涯教育文化学科教授)

「子どもの未来に、今、親たちができること」

日常生活は「学び」にあふれています。学ぶのは子どもたちだけの特権ではありません。親と子が「社会」というステージで「一緒に学ぶ」体験から、豊かな人間が育っていくのではないのでしょうか。私たち大人は親、教師、行政、それぞれの立場で、子どもたちに、どのような場所を用意し、どんなサポートを提供できるでしょうか。現場の声をうかがいます。



川島 高之(NPO法人コチカラ・ニッポン代表理事)

総合商社勤務のかたわら、PTA会長、少年野球コーチ、NPO法人「ファザリング・ジャパン」の理事として活躍。"子どもの力で大人が輝く"をモットーに「コチカラ・ニッポン」を立ち上げ、今年5月にNPO法人化したばかり。



筒井 秀夫(千葉県流山市マーケティング課シティセールス推進室長)

東京都出身。松戸のタウン誌編集、都内の広告代理店、広告企画制作会社勤務を経て、地方新聞社でつくばエクスプレス沿線情報誌の創刊に携わった後、平成22年、流山市マーケティング課内シティセールス推進室長に採用され、現在に至る。いつも忙しない主義。



澤田 聡美(千葉県香取郡神崎町まちづくり課企画係副主査)

聖徳大学短期大学部保育科卒業後、平成7年、神崎町役場に一般行政職として入職。町内に2つある保育所の事務を担当してきた。同21年まちづくり課に異動し、現在に至る。「まちづくりは学ぶことではなく、行動すること」が信条。

第2分科会 コーディネーター：清水 英男(聖徳大学人文学部生涯教育文化学科教授)

「今、伝えたい創年の知恵」

大震災直後の混乱の中でも、規律を守る日本人の姿は、世界中の人々から称賛されました。規律を守ることや、互いに助け合う意識や行動は、先人から受け継いできた尊い教訓のひとつです。いつまでも変わらない教え、今の時代だからこそ、心がける考え方。私たちは、次の世代に何を伝えていくべきなのか、会場を交えて意見交換を行います。※創年とは、地域のために自らの力を発揮し、創造的に生きる大人(中高年)のこと。福留所長が提唱し、活動を全国的に展開しています。



海瀬 元之(栃木県矢板市ふるさと創年大学受講生)

矢板市ふるさと創年大学のOBで構成する「創年ふるさと大学・ぶらぶらクラブ」を立ち上げ、会長に就任。子どもたちの「体験不足の解消」と「昔遊びの伝承」を目的に、竹とんぼづくりの講師として地域で活動している。



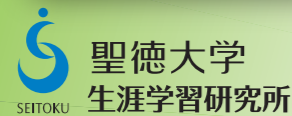
本橋千賀子(NPO法人ふじみっこ・夢みらい代表理事)

北海道生まれ。淑徳短期大学社会福祉学科を卒業後、保育園勤務を経て、現在は埼玉県富士見市在住。埼玉県さわやか相談員として小・中学校の児童・生徒と保護者の相談、援助を行っている。日本カウンセリング学会会員。NPOは市内2つの児童館の管理運営している。



青木 公達(茨城県守谷市議会議員 NPO法人リカレントねっと代表理事)

福島県いわき市出身。昭和63年から茨城県守谷市(旧・守谷町)に在住。スポーツ少年団の監督・コーチ、小学校のPTA会長・副会長を歴任。任意団体「リカレント☆ねっと」を設立(現在はNPO法人化)し、青少年育成に携わる。今年3月から現職。



<http://www.tunagari.jp>

聖徳大学生涯学習研究所 TEL:047-365-5691
 〒271-8551 千葉県松戸市松戸1169 FAX:047-365-5692
 聖徳大学生涯学習社会貢献センター6階 frontier@seitoku.ac.jp

聖徳おしごとデパート

楽習フェスタ2012

日時：6月10日(日) 10:00～16:00
 場所：聖徳大学生涯学習社会貢献センター(聖徳大学10号館)



ごあいさつ

聖徳大学生涯学習研究所は、地域に開かれた大学の研究拠点として、地域との連携を強化し、生涯学習の普及を推進するために「聖徳大学楽習フェスタ2012」を開催することになりました。生涯学習に関わるすべての方が、共に学び、共に楽しむ祭典にしたいと思います。本学学生と地元企業・行政・団体の方々の手によるさまざまな企画が盛りだくさんです。ぜひ、ご参加いただき、交流を楽しんでください。

聖徳大学生涯学習研究所長 福留強

「働く」ってどういうこと？

憧れのお仕事をリアルに体験できるのが、「聖徳おしごとデパート」です。子どものうちから、働く意義や社会の仕組みをぜひ体感してください。遊びを交えたキャリアプログラム開発には、多数の企業・行政・団体のご協力をいただきました。

さあ、ここで「お仕事の夢」に一步近づきましょう。

聖徳おしごとデパート スタッフ一同

聖徳大学オープン・アカデミーKids英語ひろば特別開講!!

企画立案・助言指導：神谷宏宏(聖徳大学児童学部児童学科准教授) 齊藤ゆか(聖徳大学人文学部生涯教育文化学科准教授)
 かえっこパズル担当：大成哲雄(聖徳大学児童学部児童学科准教授)
 学生スタッフ：聖徳大学児童学部児童学科学生 聖徳大学人文学部生涯教育文化学科学生

主催 聖徳大学生涯学習研究所
 共催 特定非営利活動法人全国生涯学習まちづくり協会
 後援 千葉県教育委員会、松戸市、松戸市教育委員会、市川市教育委員会、柏市教育委員会、取手市教育委員会
 協力 聖徳大学オープン・アカデミー、全国生涯学習市町村協議会、千葉県松戸警察署、松戸市生活安全課
 ハイム化粧品株式会社、株式会社ブルボン、株式会社富士通研究所、株式会社JCNコアラ葛飾、京葉ガス株式会社
 野村證券株式会社、サラリーマン文化振興会、新京成電鉄株式会社、郵便事業株式会社